

横浜市は東京2020大会に向けた様々な取組を 市立学校で展開中！【9月版】

横浜市では、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成の一環として、市立学校へオリンピック・パラリンピアンを招へいし講演や実技指導を行っていただき、スポーツ振興を図るなど、次世代を担う子どもたちへのレガシーを遺すための取組を行っています。

9月は、パラ競技観戦ツアーなどのプログラムと市立小学校へのオリンピック・パラリンピアンによる学校訪問を実施しますので、ぜひ取材をお願いします。

1 パラリンピック競技について知る、体験する、考える取組をオリパラ教育推進校で展開しています！

市民局ではオリパラ教育に通年で取り組んでいる「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント教育推進校※」に対し、今年度より、パラリンピック競技について知る、体験する、考えるきっかけとなるメニューを作成し、希望に応じて提供しています。

※「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント教育推進校」

スポーツ庁委託事業「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」の取組を行う市立学校で、令和元年度は30の小・中・高校・特別支援校が選定されています。

プログラム及びスケジュール

■支える（一緒にプレーする）人を知るプログラム・パラスポーツ体験

パラアスリートを「支える人」をお招きして講演会と体験会を実施します。

今回は、「支える人」としてブラインドサッカーのキーパーの方にお話を伺い、ブラインドサッカー体験を行います。ブラインドサッカー体験にはブラインドサッカー元日本代表の落合啓士さんもご参加いただきます。

日時 9月12日（木）9:35～12:20

場所 さちが丘小学校（旭区さちが丘110-1）

■教職員を対象としたパラアスリートによる人権啓発講演及びパラスポーツ体験

ブラインドサッカー元日本代表の落合啓士さんにお話を伺い、ブラインドサッカー体験を行います。

日時 9月12日（木）15:00～16:45

場所 丸山台中学校（港南区丸山台4-1-1）

■スポーツ体験

「誰でも」「どこでも」「安全」「簡単」に体験できる「スマートフェンシング」を体験します。

日時 9月19日（木）8:45～12:10

場所 二谷小学校（神奈川区平川町11-1）

■パラスポーツ観戦プログラム

横浜国際プールで開催される「2019 ジャパンパラ水泳競技大会」の観戦をします。

東京2020大会パートナー企業様のご協力による出場パラアスリートとの交流を予定しています。

日時及び対象校 9月21日（土）9:30～12:00 東山田小学校

9月21日（土）16:00～18:30 北山田小学校

9月22日（日）16:00～18:30 市場中学校

場所 横浜国際プール（都筑区北山田7-3-1）

■ゆるスポーツ体験

ゆるスポーツとは、年齢・性別・運動神経にかかわらず、だれでも楽しめる、「世界ゆるスポーツ協会」の進める新しいタイプのスポーツです。本プログラムでは、横浜ゆるスポーツ協会と一緒に、ゆるスポーツの体験と、さらにどのような工夫をするとより楽しめるかを考えます。

日時 9月25日(水) 8:45~12:25

場所 豊田小学校(栄区長沼町125-4)

横浜市では、今後も次世代を担う子どもたちへのパラリンピック競技普及啓発など、共生社会の実現に向けた取組を行っていきます。

2 横浜市立小学校にオリンピック・パラリンピアンがやって来る!

1 9月の訪問日程 ※講師の略歴については裏面「参考資料」をご覧ください。

<小学校>

	日時	場所	講師
1	9月18日(水) 9時35分~12時10分	伊勢山小学校 (泉区和泉中央南2-27-1)	青戸慎司氏(オリンピック)
2	9月18日(水) 8時50分~12時25分	左近山小学校 (旭区左近山1997-2)	市橋有里氏(オリンピック)
3	9月19日(木) 13時40分~14時25分	緑小学校 (緑区鴨居5-19-1)	高橋勇市氏(パラリンピアン)
4	9月24日(火) 9時30分~12時10分	六つ川台小学校 (南区六ツ川3-65-9)	京谷和幸氏(パラリンピアン)
5	9月25日(水) 9時40分~12時20分	東戸塚小学校 (戸塚区吉田町88)	平瀬智行氏(オリンピック)
6	9月26日(木) 9時40分~11時30分	小雀小学校 (戸塚区小雀町1845)	石川直宏氏(オリンピック)
7	9月30日(月) 9時40分~12時05分	西富岡小学校 (金沢区富岡西5-49-1)	市橋有里氏(オリンピック)

2 内容

オリンピック・パラリンピアンによる授業や講演、実技指導等を行います。

3 今後の予定

10月以降も実施します。詳細はあらためて記者発表します。



東京2020大会横浜市ウェブサイト/
横浜市東京2020情報(市民局)ツイッター
@tokyo2020_ykhamにて情報発信中!



ウェブサイト
二次元バーコード



@Tokyo2020_ykham
Follow US!

【取材について】

各実施日の前日までにお問合せ先までご連絡ください。

お問合せ先

市民局オリンピック・パラリンピック推進課担当課長 田中 礼子 Tel 045-671-4585

別紙あり

参考資料<講師略歴>

青戸 慎司 (あおと しんじ) /陸上



100mの元日本記録保持者。ソウル、バルセロナ両オリンピックに陸上短距離代表として出場し、4×100リレーでは60年ぶりに6位入賞を果たした。

1998年にはその脚力を生かし、長野冬季五輪のボブスレー代表にも選ばれ、日本人男子初の夏冬オリンピック出場選手となった。現在、中京大学陸上競技部監督、中京大学スポーツ科学部非常勤講師、公益財団法人日本オリンピック委員会強化スタッフ、公益財団法人日本陸上競技連盟強化委員などを務める。

市橋 有里 (いちはし あり) /陸上



徳島県鳴門市出身の元陸上（マラソン）選手。「トップレベルの長距離ランナー育成」を目的に誕生した陸連直轄のランニングクラブで、本格的トレーニングを開始。1999年、世界選手権セビリヤ大会で銀メダルを獲得。世界大会のマラソン種目では、史上最年少のメダリストとなった。

シドニー2000オリンピック出場。東京マラソン2007で現役を引退。

高橋 勇市 (たかはし ゆういち) /陸上



秋田県出身の陸上（マラソン）選手。高校2年生の時に白点状網膜症と診断。二十歳で失明すると医師より診断後に、網膜色素変性症も併発。30歳で失明する。

1999年から本格的にマラソンの練習を開始。2004年にかすみがうらマラソンで当時の世界記録を更新し、アテネ2004パラリンピックで金メダルを獲得。その後も数々の世界大会で好成績を収め、現在は東京2020パラリンピックを目指し、更なる記録へ挑戦し続けている。

京谷 和幸 (きょうや かずゆき) /車いすバスケットボール



北海道出身の元車いすバスケットボール選手。小学校2年生からサッカーを始め、高校時には全国高校選手権に3年連続出場。卒業後はプロサッカー選手になるが、1993年に交通事故で車いす生活に。その後車いすバスケットボールでシドニー2000パラリンピックに出場。以降、4大会連続でパラリンピックに出場。2008北京大会では日本選手団主将を務めた。現在は車いすバスケットボール日本代表アシスタントコーチ。

平瀬 智行 (ひらせ ともゆき) /サッカー



鹿児島県出身の元プロサッカー選手。1996年に鹿島アントラーズへ入団。以降の15年間のプロ生活を、CFZド・リオ（ブラジル）、横浜F・マリノス、ヴィッセル神戸、ベガルタ仙台の5チームで過ごす。シドニー2000オリンピック出場。同年には、鹿島でJリーグ初の三冠（J1リーグ、ナビスコ杯、天皇杯）制覇を経験。2010年シーズン終了後、現役を引退。現在はベガルタ仙台のクラブコーディネーターとして活動中。

石川 直宏 (いしかわ なおひろ) /サッカー



神奈川県横須賀市出身の元プロサッカー選手。5歳の時にサッカーを始める。小学校時、地元の少年少女サッカークラブである横須賀シーガルズに所属。中学に入ると横浜マリノスジュニアユース追浜に所属し、高校進学時に横浜マリノスユースに昇格。2000年には横浜F・マリノスのトップチームに昇格し、Jリーグデビュー。同年、U-19日本代表としてアジアユースに出場。2003年、FC東京に移籍。U-22日本代表としてアテネ2004オリンピック出場。2017年に現役を引退。現在はFC東京クラブコミュニケーター、日本サッカー協会不服申立委員会委員に就任。